

専任教員の実務経験

氏名	資格・実務経験	教育科目
中村 大隆	柔道整復師 柔道整復師専科教員 認定実技審査員(柔道整復実技審査員) 卒後臨床研修指導者資格 柔道初段 病院又は施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 鹿児島県柔道整復師会 本会員 JSSR認定トレーナー	柔道整復実技Ⅰ 柔道整復実技Ⅲ 臨床柔道整復学Ⅰ 関係法規 柔道整復臨床実技 臨床実習
竹山 理	柔道整復師 柔道整復師専科教員 卒後臨床研修終了 柔道初段 病院又は施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 JSSR認定トレーナー	解剖学Ⅰ 運動学Ⅰ 柔道整復学総論Ⅰ 臨床柔道整復学Ⅲ 保健医療 柔道整復臨床実技 臨床実習
附田 拓也	柔道整復師 柔道整復師専科教員 認定実技審査員(柔道実技審査員) 卒後臨床研修終了 柔道五段 病院又は施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加	柔道Ⅰ 柔道Ⅱ 柔道整復臨床実技 臨床実習
知念 友紀	柔道整復師 柔道整復師専科教員 認定実技審査員(柔道整復実技審査員) 卒後臨床研修終了 柔道初段 病院又は施術所における臨床5年以上	包帯固定学
三宅 史晃	柔道整復師 柔道整復師専科教員 卒後臨床研修終了 柔道初段 病院又は施術所における臨床5年以上	柔道整復実技Ⅰ 柔道整復実技Ⅱ 臨床柔道整復学Ⅱ メディカルトレーナー フィジカルトレーナー
重田 哲郎	柔道整復師 柔道整復師専科教員 卒後臨床研修終了 柔道初段 病院又は施術所における臨床5年以上	柔道整復学総論Ⅱ

柔道整復学科(1年生)

専門課程(医療分野)

教育課程及び授業時数									
区分	科目	規定 単位	計 画 単 位 (時間)	1学年 単 位 (時間)	2学年 単 位 (時間)	3学年 単 位 (時間)	実務		
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	医療心理学	14	2 (30)	2 (30)				
		情報科学概論		2 (30)	2 (30)				
		医療英語		4 (60)	4 (60)				
		保健体育		2 (60)	2 (60)				
		経営学概論		4 (60)	4 (60)				
	小 計		14	14 (240)	14 (240)				
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	15	I	4 (60)	4 (60)		○	
				II	4 (60)	4 (60)			
				III	4 (60)	4 (60)			
		生理学 *1		I	4 (60)		4 (60)		
				II	4 (60)		4 (60)		
		運動学		I	4 (60)	4 (60)			○
	II		2 (30)		2 (30)				
	疾病と障害	病理学	11	2 (60)		2 (60)			
		一般臨床医学		2 (60)		2 (60)			
		外科学概論		2 (60)		2 (60)			
		整形外科学		1 (30)			1 (30)		
		リハビリテーション医学		2 (60)		2 (60)			
	衛生学・公衆衛生学	2 (60)	2 (60)						
	柔道整復術の適応		2	2 (30)			2 (30)		
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	関係法規 *2	8	6 (90)			6 (90)	○	
保健医療 *3		1 (15)				1 (15)	○		
		柔道		I	2 (60)	2 (60)		○	
				II	2 (60)		2 (60)	○	
社会保険制度		1	1 (15)			1 (15)			
小 計		37	51 (990)	20 (360)	20 (450)	11 (180)			
専門分野	基礎柔道整復学	柔道整復学総論	10	I *4	6 (180)	6 (180)		○	
				II	4 (120)		4 (120)	○	
	臨床柔道整復学 *5	臨床柔道整復学	17	I	4 (120)		4 (120)	○	
				II	2 (60)		2 (60)	○	
				III	2 (60)		2 (60)	○	
				IV	12 (360)		12 (360)		
	柔道整復実技	包帯実技	17	I *6	3 (90)	3 (90)		○	
				II	2 (60)	2 (60)		○	
		柔道整復実技		III	4 (120)	4 (120)		○	
				IV	4 (120)		4 (120)	○	
柔道整復臨床実技 *7		4	4 (120)		4 (120)	○			
臨床実習		4	4 (180)		3 (135)	1 (45)	○		
小 計		48	51 (1590)	15 (450)	15 (495)	21 (645)			
合 計		99	116 (2820)	49 (1050)	35 (945)	32 (825)			

- *1 高齢者・競技者の生理学的特徴・変化を含む
- *2 職業倫理を含む
- *3 医学史を含む
- *4 外傷の保存療法の経過及び治癒の判定を含む
- *5 物理療法機器等の取扱い・柔道整復術の適応の臨床的判断(医用画像の理解を含む)を含む
- *6 臨床前試験を含む
- *7 高齢者・競技者の外傷予防技術を含む

【指定規則に定める授業科目以外の履修科目】

分野・区分	科目	規定 単位	計 画 単 位 (時間)	1学年 単 位 (時間)	2学年 単 位 (時間)	3学年 単 位 (時間)		
メディカルトレーナー	メディカルトレーナー概論	—	2 (30)	2 (30)				
	メディカルトレーナー実技							
ハイボルテージ療法			1 (15)	1 (15)				
キネシオテーピング技法			1 (15)	1 (15)				
フィジカルトレーナー	フィジカルトレーナー概論		2 (30)	2 (30)				
	フィジカルトレーナー実技							
アロマセラピー	アロマセラピー概論		2 (30)	2 (30)				
	アロマセラピー実技							
小 計				8 (120)	8 (120)			

科目名: 医療心理学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 野上 真

2単位

【授業概要】 心理学における諸分野(認知心理学、学習心理学、社会心理学、臨床心理学)の基礎的知識を学習する。心理学の知識が、勉学、日常的な人間関係、仕事でいかに活かせるか理解する。

【到達目標】 教養としての心理学の基礎的な知識を確実に身に付ける。心理学の知識を実生活で積極的に活用できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	心理学の目的と研究方法	野上
2	記憶のメカニズム(1) 記憶の定着を促す要因	野上
3	記憶のメカニズム(2) 記憶の正確さに影響を及ぼす要因	野上
4	学習のメカニズム(1) 行動変容を促す要因	野上
5	学習のメカニズム(2) 学習方略の諸相	野上
6	モチベーション(1) 内発的動機づけと外発的動機づけ	野上
7	モチベーション(2) モチベーションの促進要因	野上
8	対人影響(1) 対人コミュニケーション	野上
9	対人影響(2) リーダーシップ	野上
10	対人認知(1) 対人魅力	野上
11	対人認知(2) 偏見と差別	野上
12	心の発達	野上
13	ストレスの発生メカニズムとストレスマネジメント	野上
14	心理療法の諸相	野上
15	事故防止に関わる心理的対策	野上
16	定期試験	野上

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
 復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 情報科学概論(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 森園 由香

2単位

【授業概要】 コンピュータは研究・教育やビジネスばかりではなく、家庭にも深く浸透している。コンピュータ利用に関する基礎的知識を習得して各種アプリケーションをうまく利用することを学ぶ。また、めまぐるしく流動する情報ユビキタス社会の流れに乗り遅れないようにするため、情報化社会を取り巻く文化的・科学的・工学的・経済的・社会的な課題を実例に取り挙げ講義を進める。

【到達目標】 情報科学に関する基礎的知識を習得し、各種アプリケーションをうまく利用することを学ぶ。さらに、将来における実務業務や研究活動等に情報科学の知識を用いたアプローチができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	情報学の概要 コンピュータの成り立ちと近年の情報通信技術やユビキタス社会の紹介	森園
2	Microsoft-Word 1 Microsoft-Wordの基本操作を学ぶ	森園
3	Microsoft-Word 2 Microsoft-Wordを利用した文書作成①	森園
4	Microsoft-Word 3 Microsoft-Wordを利用した文書作成②	森園
5	Microsoft-Word 4 Microsoft-Wordを利用したカンファレンス資料の作成①	森園
6	Microsoft-Word 5 Microsoft-Wordを利用したカンファレンス資料の作成②	森園
7	Microsoft-Excel 1 Microsoft-Excelの基本操作を学ぶ	森園
8	Microsoft-Excel 2 Microsoft-Excelを利用した表計算	森園
9	Microsoft-Excel 3 Microsoft-Excelを利用したデータ管理	森園
10	Microsoft-Excel 4 Microsoft-Excelを利用した統計分析	森園
11	Microsoft-Excel 5 Microsoft-Excelを利用したグラフ作成	森園
12	まとめ WordとExcelのまとめ	森園
13	Microsoft-Power point 1 プレゼンテーション資料の作成①	森園
14	Microsoft-Power point 2 プレゼンテーション資料の作成②	森園
15	Microsoft-Power point 3 プレゼンテーションの実践	森園
16	定期試験	森園

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
 復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「Microsoft Office2019を使った情報リテラシーの基礎」(近代科学者)

【参考書名】 配布資料

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 医療英語(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 重久 睦

通年4単位

【授業概要】 テキスト・参考図書等を基礎として、英語に親しみ理解を深める。

【到達目標】 テキスト・参考資料等を基礎として、英語が理解できるようにする。
医療現場で使用する英語の理解と読解および実践的英語の基本を身につける。積極的な取組を期待する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	body parts & organs	重久
2	body parts	重久
3	bones muscles, nerves	重久
4	other body parts	重久
5	other body parts	重久
6	diseases	重久
7	diseases	重久
8	diseases	重久
9	symptoms	重久
10	symptoms	重久
11	symptoms	重久
12	symptoms & conditions	重久
13	conditions	重久
14	conditions	重久
15	conditions & injuries	重久
16	定期試験	重久

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等に目を通す。

復習:授業内容を整理し、理解する。

【教科書名】 「音声と例文でおぼえる医療英単語1000」(南雲堂)

【参考書名】 「基礎からの英語入門(改訂新版)」(南雲堂) 「鍼灸師・柔道整復師のための医学英語」(医道の日本社)

【評価基準】 定期試験90%

授業態度10%(積極性、私語や居眠りなく授業に参加、教科書や配布資料等の忘れ物をしない)

科目名: 医療英語(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 重久 睦

【授業概要】 テキスト・参考図書等を基礎として、医学に関する英語に親しみ理解を深める。

【到達目標】 テキスト・参考図書等を基礎として、カルテで使用される医学英単語が理解できるようにする。
医療現場で使用する英語の理解と読解および実践的英語の基本を身につける。積極的な取組を期待する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	injuries	重久
2	injuries	重久
3	injuries	重久
4	disorders	重久
5	treatments	重久
6	treatments	重久
7	bodily functions	重久
8	bodily functions	重久
9	chemistry & nutrition	重久
10	chemistry & nutrition	重久
11	drugs	重久
12	hospital departments	重久
13	hospital exams	重久
14	hospital anesthesia & prevention	重久
15	hospital research	重久
16	定期試験	重久

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等に目を通す。

復習:授業内容を整理し、理解する。

【教科書名】 「音声と例文でおぼえる医療英単語1000」(南雲堂)

【参考書名】 「基礎からの英語入門(改訂新版)」(南雲堂) 「鍼灸師・柔道整復師のための医学英語」(医道の日本社)

【評価基準】 定期試験90%

授業態度10%(積極性、私語や居眠りなく授業に参加、教科書や配布資料等の忘れ物をしない)

科目名: 保健体育(前期)

授業形態: 講義・実技

担当教員: 岩元 泰佐
通年2単位

【授業概要】

複数のスポーツ種目で、ルールや特性を理解する。基本的なテクニックを習得し、主にゲーム中心の活動を行う。
座学は保健・医療に関連したテーマを設定し、講義形式で行う。

【到達目標】

運動・スポーツに親しみを持ち、身体を動かす楽しみを学び積極的かつ協調性をもって活動する。
保健・医療に対する幅広い知見を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション・レク活動	岩元
2	バレーボール&バドミントン①	岩元
3	バレーボール&バドミントン②	岩元
4	バレーボール&バドミントン③	岩元
5	バレーボール&バドミントン④	岩元
6	バレーボール&バドミントン⑤	岩元
7	座学	岩元
8	バレーボール&バドミントン①	岩元
9	バレーボール&バドミントン②	岩元
10	バレーボール&バドミントン③	岩元
11	バレーボール&バドミントン④	岩元
12	バレーボール&バドミントン⑤	岩元
13	バレーボール&バドミントン⑥	岩元
14	バレーボール&バドミントン⑦	岩元
15	座学	岩元

【授業外学修】

予習: 感染症対策・体調をしっかり整え、授業に臨むこと
復習: 感染症対策を確実にし、健康管理に留意する

【教科書名】

特になし

【参考書名】

【評価基準】

受講態度80%(競技への意欲・関心40%、競技への積極的な参加40%)協調性)10%(準備・片づけなど)、小テスト10%

科目名: 保健体育(後期)

授業形態: 講義・実技

担当教員: 岩元 泰佐

【授業概要】

複数のスポーツ種目で、ルールや特性を理解する。基本的なテクニックを習得し、主にゲーム中心の活動を行う。
座学は保健・医療に関連したテーマを設定し、講義形式で行う。

【到達目標】

運動・スポーツに親しみを持ち、身体を動かす楽しみを学び積極的かつ協調性をもって活動する。
保健・医療に対する幅広い知見を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション・レク活動	岩元
2	バスケットボール&フットサル①	岩元
3	バスケットボール&フットサル②	岩元
4	バスケットボール&フットサル③	岩元
5	バスケットボール&フットサル④	岩元
6	バスケットボール&フットサル⑤	岩元
7	バスケットボール&フットサル⑥	岩元
8	バスケットボール&フットサル⑦	岩元
9	バスケットボール&フットサル⑧	岩元
10	バスケットボール&フットサル⑨	岩元
11	バスケットボール&フットサル⑩	岩元
12	バスケットボール&フットサル⑪	岩元
13	バスケットボール&フットサル⑫	岩元
14	バスケットボール&フットサル⑬	岩元
15	座学	岩元

【授業外学修】

予習: 感染症対策・体調をしっかり整え、授業に臨むこと
復習: 感染症対策を確実にし、健康管理に留意する

【教科書名】

特になし

【参考書名】

【評価基準】

受講態度80%(競技への意欲・関心40%、競技への積極的な参加40%)協調性)10%(準備・片づけなど)、小テスト10%

科目名: 経営学概論(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 下豊留 佳奈

通年4単位

【授業概要】 企業が活躍していく上で必要とされる役割や、継続的に事業を遂行するためのマネジメントについて概要を学び、経営学の基礎的な知識を習得する。
また、経営者になるための心構えについて理解を深める。

【到達目標】 経営者になると仮定した際に、どのような経営をしたいか具体的にイメージできるようになる。
社会人になる上で大切な幅広い一般教養を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	経営学とは何か	下豊留
2	組織とは	下豊留
3	屋号・名刺づくり演習	下豊留
4	鹿児島県について	下豊留
5	人脈づくり	下豊留
6	人的資源管理	下豊留
7	経営理念	下豊留
8	経営戦略	下豊留
9	防災演習(災害の歴史と災害シミュレーション)	下豊留
10	生産管理	下豊留
11	接遇演習	下豊留
12	マーケティング(1) マーケティング・ミックス	下豊留
13	マーケティング(2) サービス・マーケティング	下豊留
14	広報演習	下豊留
15	医療の歴史	下豊留
16	定期試験	下豊留

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書のページに目を通しておくこと。

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。

【教科書名】 「プレステップ経営学」(弘文堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 経営学概論(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 下豊留 佳奈

【授業概要】 企業が活躍していく上で必要とされる役割や、継続的に事業を遂行するためのマネジメントについて概要を学び、経営学の基礎的な知識を習得する。
また、経営者になるための心構えについて理解を深める。

【到達目標】 経営者になると仮定した際に、どのような経営をしたいか具体的にイメージできるようになる。
社会人になる上で大切な幅広い一般教養を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	九州について	下豊留
2	営業と意思決定	下豊留
3	営業について	下豊留
4	意思決定について	下豊留
5	男女共同参画	下豊留
6	サプライチェーンマネジメント	下豊留
7	防災演習(事業継続計画と職場備蓄)	下豊留
8	BCP策定について	下豊留
9	社交業務	下豊留
10	経営情報	下豊留
11	個人のあり方(1) 人生100年時代	下豊留
12	個人のあり方(2) セルフプロデュース	下豊留
13	企業のあり方(1) 持続可能な開発目標と社会的責任	下豊留
14	企業のあり方(2) ESG経営と働き方改革、論語と算盤	下豊留
15	人生設計	下豊留
16	定期試験	下豊留

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書のページに目を通しておくこと。

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。

【教科書名】 「プレステップ経営学」(弘文堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【授業概要】 解剖学の第2章運動系のA骨格系で骨の役割から構造など総論をはじめ、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨、頭蓋骨の骨の名称や場所の名称又は関節や体表解剖についても学ぶ。

【到達目標】 運動器の基礎として骨格系は後期から始まる運動学の筋系や柔道整復学の基本的な知識のひとつなので熟知し、専門基礎分野や専門分野の学習に備える。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	第2章運動系 A骨格系 I総論①	竹山
2	第2章運動系 A骨格系 I総論②	竹山
3	第2章運動系 A骨格系 I総論③	竹山
4	第2章運動系 A骨格系 I総論④	竹山
5	第2章運動系 A骨格系 I総論⑤	竹山
6	第2章運動系 A骨格系 I総論⑥	竹山
7	第2章運動系 A骨格系 I総論⑦	竹山
8	第2章運動系 A骨格系 2各論 体幹骨①	竹山
9	第2章運動系 A骨格系 2各論 体幹骨②	竹山
10	第2章運動系 A骨格系 2各論 体幹骨③	竹山
11	第2章運動系 A骨格系 2各論 体幹骨④	竹山
12	第2章運動系 A骨格系 2各論 体幹骨⑤	竹山
13	第2章運動系 A骨格系 2各論 上肢骨①	竹山
14	第2章運動系 A骨格系 2各論 上肢骨②	竹山
15	第2章運動系 A骨格系 2各論 上肢骨③	竹山
16	第2章運動系 A骨格系 2各論 上肢骨④	竹山
17	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨①	竹山
18	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨②	竹山
19	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨③	竹山
20	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨④	竹山
21	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨⑤	竹山
22	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨⑥	竹山
23	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨⑦	竹山
24	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨⑧	竹山
25	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨⑨	竹山
26	第2章運動系 A骨格系 2各論 下肢骨⑩	竹山
27	第2章運動系 A骨格系 2各論 頭蓋骨①	竹山
28	第2章運動系 A骨格系 2各論 頭蓋骨②	竹山
29	第2章運動系 A骨格系 2各論 頭蓋骨③	竹山
30	第2章運動系 A骨格系 2各論 頭蓋骨④	竹山
31	定期試験	竹山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読み、
医療用語に関しては、医学辞書にて調べておくこと。(約1時間)
復習:授業内容を教科書・資料などを見直しながら整理、理解し、
さらに重要語句の暗記に努めること。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版)「プロメテウス」(医学書院)
【参考書名】
【評価基準】 定期試験 100%
【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 からだの各器官の構造を学び、からだ全体のしくみを理解する。

【到達目標】 各臓器および運動器の構造の詳細な知識を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	1章 人体解剖概説①	横山
2	1章 人体解剖概説②	横山
3	1章 人体解剖概説③	横山
4	1章 人体解剖概説④	横山
5	3章 脈管系①	横山
6	3章 脈管系②	横山
7	3章 脈管系③	横山
8	3章 脈管系④	横山
9	4章 内臓系 B.呼吸器①	横山
10	4章 内臓系 B.呼吸器②	横山
11	4章 内臓系 B.呼吸器③	横山
12	4章 内臓系 B.呼吸器④	横山
13	4章 内臓系 B.呼吸器⑤	横山
14	4章 内臓系 B.呼吸器⑥	横山
15	4章 内臓系 A.消化器①	横山
16	4章 内臓系 A.消化器②	横山
17	4章 内臓系 A.消化器③	横山
18	4章 内臓系 A.消化器④	横山
19	4章 内臓系 A.消化器⑤	横山
20	4章 内臓系 A.消化器⑥	横山
21	4章 内臓系 C.泌尿器①	横山
22	4章 内臓系 C.泌尿器②	横山
23	4章 内臓系 C.泌尿器③	横山
24	4章 内臓系 C.泌尿器④	横山
25	2章 運動系 A.骨系①	横山
26	2章 運動系 A.骨系②	横山
27	2章 運動系 A.骨系③	横山
28	2章 運動系 A.骨系④	横山
29	まとめ	横山
30	質疑応答・演習問題解説	横山
31	定期試験	横山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【授業概要】 からだの各器官の構造を学び、からだ全体のしくみを理解する。

【到達目標】 各臓器および運動器の構造の詳細な知識を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	5章 内分泌①	横山
2	5章 内分泌②	横山
3	4章 内臓系 D.生殖器①	横山
4	4章 内臓系 D.生殖器②	横山
5	4章 内臓系 D.生殖器③	横山
6	4章 内臓系 D.生殖器④	横山
7	2章 運動系 B.筋系①	横山
8	2章 運動系 B.筋系②	横山
9	2章 運動系 B.筋系③	横山
10	2章 運動系 B.筋系④	横山
11	2章 運動系 B.筋系⑤	横山
12	2章 運動系 B.筋系⑥	横山
13	2章 運動系 B.筋系⑦	横山
14	2章 運動系 B.筋系⑧	横山
15	2章 運動系 B.筋系⑨	横山
16	2章 運動系 B.筋系⑩	横山
17	6章 神経系 A.神経系の基礎 B.脳 C.脊髄①	横山
18	6章 神経系 A.神経系の基礎 B.脳 C.脊髄②	横山
19	6章 神経系 A.神経系の基礎 B.脳 C.脊髄③	横山
20	6章 神経系 A.神経系の基礎 B.脳 C.脊髄④	横山
21	6章 神経系 D.末梢神経①	横山
22	6章 神経系 D.末梢神経②	横山
23	6章 神経系 D.末梢神経③	横山
24	6章 神経系 D.末梢神経④	横山
25	7章 感覚器	横山
26	7章 感覚器	横山
27	8章 体表解剖	横山
28	8章 体表解剖	横山
29	まとめ	横山
30	質疑応答・演習問題解説	横山
31	定期試験	横山

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【授業概要】 運動学 I では主に筋について学習する。
身体の部位ごとの筋の名称や作用、起始・停止、支配神経を学び、
関節運動やそれに伴う身体の動作など筋に付随することを学ぶ。

【到達目標】 骨、関節、筋の構造と機能を学び、身体の運動を理解するとともに、今後の柔道整復学の
基礎的知識としては勿論だが、柔道整復師として臨床の場で必要な知識として習熟してほしい。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	第4章 運動器の構造と機能 A骨の構造と機能	竹山
2	第4章 運動器の構造と機能 B関節の構造と機能	竹山
3	第4章 運動器の構造と機能 C骨格筋の構造と機能	竹山
4	第4章 運動器の構造と機能の復習	竹山
5	第8章 四肢と体幹の運動 L顔面及び頭部の運動①	竹山
6	第8章 四肢と体幹の運動 L顔面及び頭部の運動②	竹山
7	第8章 四肢と体幹の運動 L顔面及び頭部の運動③	竹山
8	第8章 四肢と体幹の運動 H体幹と脊柱の運動	竹山
9	第8章 四肢と体幹の運動 I頸椎の運動	竹山
10	第8章 四肢と体幹の運動 J胸椎と胸郭の運動	竹山
11	第8章 四肢と体幹の運動 K腰椎、仙椎および骨盤の運動	竹山
12	第8章 四肢と体幹の運動 H、I復習	竹山
13	第8章 四肢と体幹の運動 J、K復習	竹山
14	第8章 四肢と体幹の運動 A上肢帯の運動①	竹山
15	第8章 四肢と体幹の運動 A上肢帯の運動②	竹山
16	第8章 四肢と体幹の運動 B肩関節の運動①	竹山
17	第8章 四肢と体幹の運動 B肩関節の運動②	竹山
18	第8章 四肢と体幹の運動 C肘関節と前腕の運動①	竹山
19	第8章 四肢と体幹の運動 C肘関節と前腕の運動②	竹山
20	第8章 四肢と体幹の運動 D手関節と手の運動①	竹山
21	第8章 四肢と体幹の運動 D手関節と手の運動②	竹山
22	第8章 四肢と体幹の運動 E股関節の運動①	竹山
23	第8章 四肢と体幹の運動 E股関節の運動②	竹山
24	第8章 四肢と体幹の運動 F膝関節の運動①	竹山
25	第8章 四肢と体幹の運動 F膝関節の運動②	竹山
26	第8章 四肢と体幹の運動 G足関節と足部の運動①	竹山
27	第8章 四肢と体幹の運動 G足関節と足部の運動②	竹山
28	第8章 四肢と体幹の運動 D、E復習	竹山
29	第8章 四肢と体幹の運動 F、G復習	竹山
30	第8章 四肢と体幹の運動 総復習	竹山
31	定期試験	竹山

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読み、
医療用語に関しては、医学辞書にて調べておくこと。(約1時間)
復習：授業内容を教科書・資料などを見直しながら整理、理解し、
さらに重要語句の暗記に努めること。(約1時間)

【教科書名】 「運動学」(医歯薬出版)「解剖学」(医歯薬出版)「プロメテウス」(医学書院)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験 100%

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 衛生学・公衆衛生学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 滝川 義弘
通年2単位

- 【授業概要】** 健康の概念を明確化し、その保持・増進(保健)、すなわち疾病の予防から、生活の質(QOL)の向上のための方法論を総合的に学習する。
- 【到達目標】** 柔道整復師に必要な公衆衛生学の基礎知識を身につけ、応用できること。
柔道整復師国家試験科目の一つでもある公衆衛生学を習得する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	1. 衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動(A. 衛生学・公衆衛生学の歴史 B. 公衆衛生学活動)	滝川
2	2. 健康の概念(A. 健康の語源と理解 B. 健康を維持する上での生活の役割 C. 慢性疾患と生活 D. 健康の測定)	滝川
3	3. 疾病予防と健康管理(A. 疾病の自然史と予防 B. 病因と危険因子 C. 疾病予防の段階 D. 加齢・生活習慣と疾病)	滝川
4	3. 疾病予防と健康管理(E. 健康管理のスペクトラムと活動の構成 F. 集団検診 G. 健康管理の技法 H. 健康管理の今後)	滝川
5	4. 感染症の予防①(A. 感染症とは)	滝川
6	4. 感染症の予防②(A. 感染症とは)	滝川
7	4. 感染症の予防③(A. 感染症とは B. 予防と対策)	滝川
8	4. 感染症の予防④(B. 感染の予防対策)	滝川
9	5. 消毒①(A. 消毒とは)	滝川
10	5. 消毒②(B. 消毒の種類と方法 C. 消毒法の応用)	滝川
11	6. 環境保健①(A. 環境とは B. 人間(主体)・環境系 C. 生体における量と反応関係 D. 環境問題)	滝川
12	6. 環境保健②(E. 環境の把握 F. 環境の評価 G. 物理的環境要因 H. 化学的環境要因 J. 公害 K. 空気の衛生と大気汚染)	滝川
13	6. 環境保健③(L. 環境の測定と評価 M. 環境基準とその設定 N. 環境政策)	滝川
14	6. 環境保健④(O. 地球環境の管理 P. 最近の環境問題)	滝川
15	前期まとめ	滝川
16	定期試験	滝川

- 【授業外学修】** 予習: 講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習: 授業内容を整理し理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「衛生学・公衆衛生学」(南江堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 衛生学・公衆衛生学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 滝川 義弘

- 【授業概要】** 健康の概念を明確化し、その保持・増進(保健)、すなわち疾病の予防から、生活の質(QOL)の向上のための方法論を総合的に学習する。
- 【到達目標】** 柔道整復師に必要な公衆衛生学の基礎知識を身につけ、応用できること。
柔道整復師国家試験科目の一つでもある公衆衛生学を習得する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	7. 母子保健	滝川
2	8. 学校保健	滝川
3	9. 産業保健	滝川
4	10. 成人・老人保健	滝川
5	11. 精神保健	滝川
6	12. 生活環境・食品衛生活動①(A. 水の衛生水質汚染 B. 衣服 C. 住居)	滝川
7	12. 生活環境・食品衛生活動②(D. 食品 E. 食品衛生活動)	滝川
8	12. 生活環境・食品衛生活動③(F. 栄養改善活動 G. 廃棄物処理 H. 消費者保健活動)	滝川
9	13. 地域保健と国際保健①(A. 地域保健とは B. 地域社会のとらえ方 C. 地域 D. 地域保健活動の特徴 E. 地域保健活動の進め方)	滝川
10	13. 地域保健と国際保健②(F. 地域特性とその指標 G. 現状 G. 国際協力保険機構)	滝川
11	14. 衛生行政と保健医療の制度①(A. 衛生行政の考え方 B. わが国の衛生行政機構(組織)の概要 C. 関連機関の役割 D. 保健医療行政の財政 E. 医療施設 F. 保健医療従事者)	滝川
12	14. 衛生行政と保健医療の制度②(G. 医療保険 H. 公費(負担)医療 I. 国民医療費 J. 健康づくり K. 保健・医療・福祉関係の法規 L. 医療と公衆衛生活動の問題と倫理)	滝川
13	15. 疫学①(A. 疫学とは B. 病因論: 疾病の成り立ち C. 疫学モデル D. 疫学調査の手順と留意事項)	滝川
14	15. 疫学②(D. 疫学調査の手順と留意事項 E. 疫学で用いる主な統計手法)	滝川
15	後期まとめ	滝川
16	定期試験	滝川

- 【授業外学修】** 予習: 講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習: 授業内容を整理し理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「衛生学・公衆衛生学」(南江堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 柔道Ⅰ(前期)

授業形態: 実技

担当教員: 附田 拓也
通年2単位

【授業概要】 柔道の基礎を学ぶ。3年次の『認定実技審査』に向けての準備。

【到達目標】 柔道により柔道整復の源を学ぶとともに、健全な身体の育成及び礼節をわきまえた人格を形成する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	ガイダンス(柔道衣の着方・畳み方・身だしなみなどの説明)	附田
2	準備運動 礼法(礼法:立礼・座礼・座り方・立ち方) 後ろ受身・横受身	附田
3	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身	附田
4	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身①	附田
5	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身②	附田
6	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身③	附田
7	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身④	附田
8	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑤	附田
9	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑥	附田
10	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑦	附田
11	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑧	附田
12	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑨	附田
13	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑩	附田
14	準備運動 礼法 後ろ受身・横受身・前受身・前回り受身⑪	附田
15	まとめ・柔道の歴史	附田
16	定期試験(実技・筆記試験)	附田

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する動画(画像など)を見ておくこと。(約30分)
復習:授業内容を整理・理解し、教科書や資料を見ておくこと。(約30分)

【教科書名】 「柔道教室」(大修館書店)

【参考書名】 「投の形」(講道館)

【評価基準】 定期試験(実技試験70%・筆記試験30%)

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 柔道Ⅰ(後期)

授業形態: 実技

担当教員: 附田 拓也

【授業概要】 柔道の基礎を学ぶ。3年次の『認定実技審査』に向けての準備。

【到達目標】 柔道により柔道整復の源を学ぶとともに、健全な身体の育成及び礼節をわきまえた人格を形成する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】浮落①	附田
2	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】浮落②	附田
3	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】浮落③	附田
4	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】浮落④	附田
5	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】浮落⑤	附田
6	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】浮落⑥	附田
7	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】背負投①	附田
8	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】背負投②	附田
9	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】背負投③	附田
10	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】背負投④	附田
11	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】背負投⑤	附田
12	準備運動 礼法 前回り受身 投の形【手技】背負投⑥	附田
13	準備運動 認定実技審査対策(模擬練習 ⇒ 礼法、前回り受身、【手技】浮落 背負投)①	附田
14	準備運動 認定実技審査対策(模擬練習 ⇒ 礼法、前回り受身、【手技】浮落 背負投)②	附田
15	まとめ	附田
16	定期試験(実技・筆記試験)	附田

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する動画(画像など)を見ておくこと。(約30分)
復習:授業内容を整理・理解し、教科書や資料を見ておくこと。(約30分)

【教科書名】 「柔道教室」(大修館書店)

【参考書名】 「投の形」(講道館)

【評価基準】 定期試験(実技試験70%・筆記試験30%)

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 柔道整復学の基礎を学ぶ。

【到達目標】 柔道整復学(各論:骨折・脱臼・軟部組織損傷)を学習する前に基礎である学習すると同時に、柔道整復師として備えるべき外傷疾患の対応能力の強化の為、外傷の保存療法についての知識を身に付け、外傷の経過及び治療判断に役立てる。*5

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	骨の概説(P20~23)①	竹山
2	骨の概説(P20~23)②	竹山
3	骨損傷の分類(P23~31)①	竹山
4	骨損傷の分類(P23~31)②	竹山
5	骨損傷の分類(P23~31)③	竹山
6	骨損傷の分類(P23~31)④	竹山
7	骨損傷の分類(P23~31)⑤	竹山
8	骨損傷の分類(P23~31)⑥	竹山
9	骨損傷の分類(P23~31)⑦	竹山
10	骨損傷の分類(P23~31)⑧	竹山
11	骨損傷の分類(P23~31)⑨	竹山
12	骨損傷の分類(P23~31)⑩	竹山
13	骨損傷の分類(P23~31)⑪	竹山
14	骨損傷の分類(P23~31)⑫	竹山
15	骨折の症状(P31~34)①	竹山
16	骨折の症状(P31~34)②	竹山
17	骨折の症状(P31~34)③	竹山
18	骨折の症状(P31~34)④	竹山
19	骨折の症状(P31~34)⑤	竹山
20	骨折の症状・合併症(P34~39)①	竹山
21	骨折の症状・合併症(P34~39)②	竹山
22	骨折の症状・合併症(P34~39)③	竹山
23	骨折の症状・合併症(P34~39)④	竹山
24	骨折の症状・合併症(P34~39)⑤	竹山
25	骨折の症状・合併症(P34~39)⑥	竹山
26	骨折の症状・合併症(P34~39)⑦	竹山
27	骨折の症状・合併症(P34~39)⑧	竹山
28	骨折の症状・合併症(P34~39)⑨	竹山
29	骨折の症状・合併症(P34~39)⑩	竹山
30	小児骨折・高齢者骨折の特徴(P39~42)①	竹山
31	小児骨折・高齢者骨折の特徴(P39~42)②	竹山
32	小児骨折・高齢者骨折の特徴(P39~42)③	竹山
33	小児骨折・高齢者骨折の特徴(P39~42)④	竹山
34	小児骨折・高齢者骨折の特徴(P39~42)⑤	竹山
35	整復法(P88~95)①	竹山
36	整復法(P88~95)②	竹山
37	整復法(P88~95)③	竹山
38	整復法(P88~95)④	竹山
39	整復法(P88~95)⑤	竹山
40	骨折の治癒(P42~46)①	外傷の経過及び治療判断
41	骨折の治癒(P42~46)②	外傷の経過及び治療判断
42	骨折の治癒(P42~46)③	外傷の経過及び治療判断
43	骨折の固定法(P95~101)①	竹山
44	骨折の固定法(P95~101)②	竹山
45	骨折の固定法(P95~101)③	竹山
46	定期試験	竹山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読み、
医療用語に関しては、医学辞書にて調べておくこと。(約2時間)
復習:授業内容を教科書・資料などを見直しながら整理、理解し、
さらに重要語句の暗記に努めること。(約2時間)

【教科書名】 「柔道整復学 理論編」(南江堂) 「柔道整復学 実技編」(南江堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

- 【授業概要】** 柔道整復学の基礎を学ぶ。
【到達目標】 柔道整復学(各論:骨折・脱臼・軟部組織損傷)を学習する前に基礎である学習すると同時に、柔道整復師として備えるべき外傷疾患の対応能力の強化の為、外傷の保存療法についての知識を身に付け、外傷の経過及び治療判断に役立てる。*4

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	関節の損傷-脱臼(P52~64)①	竹山
2	関節の損傷-脱臼(P52~64)②	竹山
3	関節の損傷-脱臼(P52~64)③	竹山
4	関節の損傷-脱臼(P52~64)④	竹山
5	関節の損傷-脱臼(P52~64)⑤	竹山
6	関節の損傷-捻挫(P46~52)① 外傷の経過及び治療判断	竹山
7	関節の損傷-捻挫(P46~52)② 外傷の経過及び治療判断	竹山
8	関節の損傷-捻挫(P46~52)③ 外傷の経過及び治療判断	竹山
9	関節の損傷-捻挫(P46~52)④ 外傷の経過及び治療判断	竹山
10	関節の損傷-捻挫(P46~52)⑤ 外傷の経過及び治療判断	竹山
11	筋の損傷(P64~70)① 外傷の経過及び治療判断	竹山
12	腱の損傷(P71~76)① 外傷の経過及び治療判断	竹山
13	末梢神経の損傷(P76~82)③ 外傷の経過及び治療判断	竹山
14	血管系・リンパ系・皮膚の損傷④ 外傷の経過及び治療判断	竹山
15	後療法(P101~131)① 外傷の経過及び治療判断	竹山
16	後療法(P101~131)② 外傷の経過及び治療判断	竹山
17	後療法(P101~131)③ 外傷の経過及び治療判断	竹山
18	後療法(P101~131)④ 外傷の経過及び治療判断	竹山
19	後療法(P101~131)⑤ 外傷の経過及び治療判断	竹山
20	後療法(P101~131)⑥ 外傷の経過及び治療判断	竹山
21	後療法(P101~131)⑦ 外傷の経過及び治療判断	竹山
22	後療法(P101~131)⑧ 外傷の経過及び治療判断	竹山
23	診察(P83~87)	竹山
24	その他(指導管理・評価・医療面接)①	竹山
25	その他(指導管理・評価・医療面接)②	竹山
26	その他(指導管理・評価・医療面接)③	竹山
27	その他(指導管理・評価・医療面接)④	竹山
28	各論 2 上肢①	竹山
29	各論 2 上肢②	竹山
30	各論 2 上肢③	竹山
31	各論 2 上肢④	竹山
32	各論 2 上肢⑤	竹山
33	各論 2 上肢⑥	竹山
34	各論 2 上肢⑦	竹山
35	各論 2 上肢⑧	竹山
36	各論 2 上肢⑨	竹山
37	各論 2 上肢⑩	竹山
38	各論 2 上肢⑪	竹山
39	各論 2 上肢⑫	竹山
40	各論 2 上肢⑬	竹山
41	各論 2 上肢⑭	竹山
42	各論 2 上肢⑮	竹山
43	各論 2 上肢⑯	竹山
44	各論 2 上肢⑰	竹山
45	各論 2 上肢⑱	竹山
46	定期試験	竹山

- 【授業外学修】** 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読み、
 医療用語に関しては、医学辞書にて調べておくこと。(約2時間)
 復習:授業内容を教科書・資料などを見直しながら整理、理解し、
 さらに重要語句の暗記に努めること。(約2時間)

- 【教科書名】** 「柔道整復学 理論編」(南江堂) 「柔道整復学 実技編」(南江堂)
【参考書名】
【評価基準】 定期試験100%
【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 包帯実技(前期)

授業形態：実技

担当教員：知念 友紀
通年3単位

【授業概要】 柔道整復師の包帯学において、基本となる包帯法を習得する。
また、柔道整復師国家試験に出題される包帯法について学ぶ。

【到達目標】 柔道整復師認定実技試験または、臨床の場で用いるための基本となる包帯法を習得する。
2・3年次における臨床実習に対応できるよう、基本的臨床能力を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	固定(目的・範囲・肢位)、固定材料の種類	知念
2	上手な巻軸帯の巻き方と注意事項、巻軸帯の巻き戻し	知念
3	基本包帯法(環行帯・螺旋帯・蛇行帯)①	知念
4	基本包帯法(環行帯・螺旋帯・蛇行帯)②	知念
5	基本包帯法(折転帯・亀甲帯)①	知念
6	基本包帯法(折転帯・亀甲帯)②	知念
7	基本包帯法(麦穂帯)①	知念
8	基本包帯法(麦穂帯)②	知念
9	基本包帯復習①	知念
10	基本包帯復習②	知念
11	基本包帯復習③	知念
12	部位別包帯法(頭部)① 部位別包帯法(頭部)②	知念
13	部位別包帯復習①	知念
14	部位別包帯復習②	知念
15	まとめ	知念
16	定期試験	知念

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習：授業内容を整理し、家族や知人の身体を借りて反復練習を行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「包帯固定学」(南江堂) 「柔道整復学 理論編 実技編」(南江堂)

【参考書名】

【評価基準】

定期試験100%

【実務経験】

病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 包帯実技(後期)

授業形態: 実技

担当教員: 知念 友紀

【授業概要】 柔道整復師の包帯学において、基本となる包帯法を習得する。
また、柔道整復師国家試験に出題される包帯法について学ぶ。

【到達目標】 柔道整復師認定実技試験または、臨床の場で用いるための基本となる包帯法を習得する。
2・3年次における臨床実習に対応できるよう、基本的臨床能力を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	部位別包帯法(手関節部・前腕部)①	知念
2	部位別包帯法(手関節部・前腕部)②	知念
3	部位別包帯法(指部)①	知念
4	部位別包帯法(指部)②	知念
5	部位別包帯法(足関節部)①	知念
6	部位別包帯法(足関節部)②	知念
7	部位別包帯法(肩部)①	知念
8	部位別包帯法(肩部)②	知念
9	部位別包帯法(胸部・背部)①	知念
10	部位別包帯法(胸部・背部)②	知念
11	部位別包帯法(下腿部)①	知念
12	部位別包帯法(下腿部)②	知念
13	部位別包帯法(肘部・膝関節部)①	知念
14	部位別包帯法(肘部・膝関節部)②	知念
15	部位別包帯法(大腿部・股関節部)①	知念
16	部位別包帯法(大腿部・股関節部)②	知念
17	冠名包帯法(ヴェルポー包帯法⇒左右)①	知念
18	冠名包帯法(ヴェルポー包帯法⇒左右)②	知念
19	冠名包帯法(ヴェルポー包帯法⇒左右)③	知念
20	冠名包帯法(ジュール包帯法⇒左右)①	知念
21	冠名包帯法(ジュール包帯法⇒左右)②	知念
22	冠名包帯法(ジュール包帯法⇒左右)③	知念
23	冠名包帯法(デゾー包帯法⇒左右)①	知念
24	冠名包帯法(デゾー包帯法⇒左右)②	知念
25	冠名包帯法(デゾー包帯法⇒左右)③	知念
26	部位別包帯法(手関節部・前腕部・指部)復習	知念
27	部位別包帯法(足関節部・肩部・胸部・背部)復習	知念
28	部位別包帯法(下腿部・大腿部・股関節部)復習	知念
29	冠名包帯法(ヴェルポー包帯法・ジュール包帯法・デゾー包帯法)復習①	知念
30	まとめ	知念
31	定期試験	知念

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、家族や知人の身体を借りて反復練習を行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「包帯固定学」(南江堂) 「柔道整復学 理論編 実技編」(南江堂)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 柔道整復実技 I (前期)

授業形態: 実技

担当教員: 三宅 史晃
通年2単位

【授業概要】 臨床実習前教育で身に付けておくべき基本的臨床能力を習得するため、
医療面接・身体診察法(身体計測・ROM・MMT・徒手検査)・体表観察・基本的臨床手技を学ぶ。
*臨床前試験を含む

【到達目標】 2・3年次における臨床実習に対応できるよう、基本的臨床能力を習得する。
また、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を養う。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	RICE処置 テーピングの基礎知識	三宅
2	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 足関節①	三宅
3	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 足関節②	三宅
4	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 足関節③	三宅
5	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 膝関節①	三宅
6	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 膝関節②	三宅
7	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 股関節(腰・背部)	三宅
8	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 肩関節	三宅
9	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 肘関節	三宅
10	基本的臨床手技(身体診察法:ROM・MMT・徒手検査) 手関節	三宅
11	基本的臨床手技(ストレッチ 伸長法など含む)①	三宅
12	基本的臨床手技(ストレッチ 伸長法など含む)②	三宅
13	基本的臨床手技(ストレッチ 伸長法など含む)③	三宅
14	基本的臨床手技(ストレッチ 伸長法など含む)④	三宅
15	基本的臨床手技(ストレッチ 伸長法など含む)⑤	三宅
16	定期実技試験(臨床前試験*6)	三宅

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する骨・筋・関節を教科書・資料等を用いて確認すること。(約1時間)
復習:授業で学んだ基本的臨床手技の練習を行い、実践に備えること。(約1時間)

【教科書名】 「柔道整復学 実技編」(南江堂)「骨格筋の形と触察法」(大峰閣)

【参考書名】 「実践図解プロが教える正しく巻ける!即効テーピング」(学研)

「IDストレッチング」(三輪書店)

【評価基準】 定期実技試験100%

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上

科目名: 柔道整復実技 I (後期)

授業形態: 実技

担当教員: 中村 大隆

【授業概要】 臨床実習前教育で身に付けておくべき基本的臨床能力を習得するため、
医療面接・身体診察法(身体計測・ROM・MMT・徒手検査)・体表観察・基本的臨床手技を学ぶ。
*臨床前試験を含む

【到達目標】 2・3年次における臨床実習に対応できるよう、基本的臨床能力を習得する。
また、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を養う。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	医療面接(問診について)	中村
2	Part.1 体表観察(全身・骨盤)	中村
3	Part.2 体表観察 基本的臨床手技(TP) 背部・上肢・頸部①	中村
4	Part.2 体表観察 基本的臨床手技(TP) 背部・上肢・頸部②	中村
5	Part.2 体表観察 基本的臨床手技(TP) 背部・上肢・頸部③	中村
6	Part.2 体表観察 基本的臨床手技(TP) 背部・上肢・頸部④	中村
7	Part.2 体表観察 基本的臨床手技(TP) 背部・上肢・頸部⑤	中村
8	Part.3 体表観察 基本的臨床手技(TP) 腰部・臀部・大腿部①	中村
9	Part.3 体表観察 基本的臨床手技(TP) 腰部・臀部・大腿部②	中村
10	Part.3 体表観察 基本的臨床手技(TP) 腰部・臀部・大腿部③	中村
11	Part.3 体表観察 基本的臨床手技(TP) 腰部・臀部・大腿部④	中村
12	Part.3 体表観察 基本的臨床手技(TP) 腰部・臀部・大腿部⑤	中村
13	身体診察法(身体計測:BMI・四肢長・四肢周径)	中村
14	評価の実施	中村
15	総合練習(問診⇒視診⇒施術⇒評価⇒ストレッチORテーピング⇒指導管理)	中村
16	定期実技試験(臨床前試験*6)	中村

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に該当する骨・筋・関節を教科書・資料等を用いて確認すること。(約1時間)
復習:授業で学んだ基本的臨床手技の練習を行い、実践に備えること。(約1時間)

【教科書名】 「柔道整復学 実技編」(南江堂)「骨格筋の形と触察法」(大峰閣)

【参考書名】 「実践図解プロが教える正しく巻ける!即効テーピング」(学研)

「IDストレッチング」(三輪書店)

【評価基準】 定期実技試験100%

【実務経験】 病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 柔道整復実技の基礎と応用を学ぶ。

【到達目標】 柔道整復実技の基礎的知識と技術を習得する。
2・3年次における臨床実習に対応できるよう、基本的臨床能力を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	金属シーネを使用した固定の基礎	三宅
2	厚紙副子を使用した固定の基礎	三宅
3	上肢の固定法 肩関節の固定 (厚紙副子の作成)①	三宅
4	上肢の固定法 肩関節の固定 (厚紙副子による固定)①	三宅
5	上肢の固定法 肘関節の固定 (金属シーネの作成)①	三宅
6	上肢の固定法 肘関節の固定 (金属シーネによる固定)①	三宅
7	上肢の固定法 前腕の固定 (厚紙副子・金属シーネの作成)①	三宅
8	上肢の固定法 前腕の固定 (厚紙副子・金属シーネによる固定)①	三宅
9	上肢の固定法 手指の固定 (アルミ副子の作成)①	三宅
10	上肢の固定法 手指の固定 (アルミ副子による固定)①	三宅
11	上肢の固定法 手指の固定 (アルミ副子の作成)②	三宅
12	上肢の固定法 手指の固定 (アルミ副子による固定)②	三宅
13	上肢の固定法 上腕の固定 (ミッテルドルフによる固定)①	三宅
14	上肢の固定法 上腕の固定 (ミッテルドルフの作成)①	三宅
15	体幹の固定法 鎖骨の固定 (厚紙副子の作成)①	三宅
16	体幹の固定法 鎖骨の固定 (厚紙副子による固定)①	三宅
17	体幹の固定法 肩鎖関節の固定 (厚紙副子の作成)①	三宅
18	体幹の固定法 肩鎖関節の固定 (厚紙副子による固定)①	三宅
19	体幹の固定法 肋骨の固定 (厚紙副子の作成)①	三宅
20	体幹の固定法 肋骨の固定 (厚紙副子による固定)①	三宅
21	下肢の固定法 下腿部の固定 (金属シーネの作成)①	三宅
22	下肢の固定法 下腿部の固定 (金属シーネによる固定)①	三宅
23	下肢の固定法 下腿部の固定 (金属シーネの作成)②	三宅
24	下肢の固定法 下腿部の固定 (金属シーネによる固定)②	三宅
25	足部の固定法 足部の固定 (厚紙副子の作成)①	三宅
26	足部の固定法 足部の固定 (厚紙副子による固定)①	三宅
27	石膏ギプス固定①	三宅
28	石膏ギプス固定②	三宅
29	上肢の固定法 まとめ①	三宅
30	上肢の固定法 まとめ②	三宅
31	定期試験	三宅

【授業外学修】 予習: 施術者に相応しい身だしなみにて受講すること。
各回授業内容の予習(発生機序・転位・症状等)を教科書や資料にて確認し受講すること(約1時間)
復習: 固定法を家族や友人へ反復練習し、2・3年次の臨床実習で実践できるよう習得すること(約1時間)
「柔道整復学 実技編」(南江堂) 「柔道整復学 理論編」(南江堂) 「包帯固定学」(南江堂)

【教科書名】

【参考書名】

【評価基準】

定期試験100%

【実務経験】

病院または施術所における臨床5年以上

科目名： 柔道整復実技Ⅱ（後期）

授業形態： 実技

担当教員： 三宅 史晃

【授業概要】 柔道整復実技の基礎と応用を学ぶ。

【到達目標】 上肢・下肢の固定法の基礎を習得する。
2・3年次における臨床実習に対応できるよう、基本的臨床能力を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	鎖骨骨折の固定①	三宅
2	鎖骨骨折の固定②	三宅
3	肩鎖関節脱臼の固定①	三宅
4	肩鎖関節脱臼の固定②	三宅
5	肩関節脱臼の固定①	三宅
6	肩関節脱臼の固定②	三宅
7	上腕骨骨幹部骨折の固定①	三宅
8	上腕骨骨幹部骨折の固定②	三宅
9	肘関節脱臼の固定①	三宅
10	肘関節脱臼の固定②	三宅
11	コーレス骨折の固定①	三宅
12	コーレス骨折の固定②	三宅
13	手第2指PIP関節背側脱臼の固定①	三宅
14	手第2指PIP関節背側脱臼の固定②	三宅
15	第5中手骨頸部骨折の固定①	三宅
16	第5中手骨頸部骨折の固定②	三宅
17	肋骨骨折の固定①	三宅
18	肋骨骨折の固定②	三宅
19	下腿骨幹部骨折の固定①	三宅
20	下腿骨幹部骨折の固定②	三宅
21	アキレス腱断裂の固定①	三宅
22	アキレス腱断裂の固定②	三宅
23	足関節外側靭帯損傷の副子固定①	三宅
24	足関節外側靭帯損傷の副子固定②	三宅
25	上肢のキャストライト固定①	三宅
26	上肢のキャストライト固定②	三宅
27	下肢のキャストライト固定①	三宅
28	下肢のキャストライト固定②	三宅
29	固定法 まとめ②	三宅
30	固定法 まとめ①	三宅
31	定期試験	三宅

【授業外学修】 予習：施術者に相応しい身だしなみにて受講すること。

各回授業内容の予習（発生機序・転位・症状等）を教科書や資料にて確認し受講すること（約1時間）
復習：固定法を家族や友人へ反復練習し、2・3年次の臨床実習で実践できるよう習得すること（約1時間）

【教科書名】

【参考書名】

【評価基準】

【実務経験】

定期試験100%

病院または施術所における臨床5年以上

科目名: メディカルトレーナー(前期)

授業形態: 講義・実技

担当教員:

三宅 史晃

*この科目は柔道整復師指定規則外の科目である。

2 単位

【授業概要】

本校独自の正規カリキュラムとして、スポーツトレーナーに関わる知識を習得する為、日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナーテキストを基に講義を行う。

【到達目標】

メディカルトレーナーに必要な、知識、技術を身に付け、民間資格の取得を行う。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	スポーツトレーナーについて	三宅
2	物理療法(温熱・寒冷療法)	三宅
3	徒手療法 頭頸部①	三宅
4	徒手療法 頭頸部②	三宅
5	徒手療法 体幹①	三宅
6	徒手療法 体幹②	三宅
7	徒手療法 上肢①	三宅
8	徒手療法 上肢②	三宅
9	徒手療法 下肢①	三宅
10	徒手療法 下肢②	三宅
11	徒手療法 総復習	三宅
12	ストレッチングについて(効果と目的)	三宅
13	ストレッチ・検査測定	三宅
14	ストレッチ・検査測定	三宅
15	ストレッチ・検査測定	三宅
16		

【授業外学修】

予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】

JSSR認定トレーナーテキスト 骨格筋の形と触察法

【参考書名】

【評価基準】

授業態度100%(授業への意欲・関心50%、授業への積極的な参加50%)

【実務経験】

病院または施術所における臨床5年以上

科目名: フィジカルトレーナー(後期)

授業形態: 講義・実技

担当教員:

三宅 史晃

*この科目は柔道整復師指定規則外の科目である。

2 単位

【授業概要】

本校独自の正規カリキュラムとして、スポーツトレーナーに関わる知識を習得する為、パーソナルフィットネストレーナーテキストを基に講義を行う。

【到達目標】

フィットネストレーナーに必要な、知識、技術を身に付け民間資格の取得を希望する学生は合格を目指し、希望しない学生は学内でのトレーナー活動で実践できるように実践的能力を養う。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	筋力トレーニングについて	三宅
2	トレーニングのプログラム設計①	三宅
3	トレーニングのプログラム設計②	三宅
4	上肢エクササイズ①	三宅
5	上肢エクササイズ②	三宅
6	上肢エクササイズ③	三宅
7	下肢エクササイズ①	三宅
8	下肢エクササイズ②	三宅
9	下肢エクササイズ③	三宅
10	体幹エクササイズ①	三宅
11	体幹エクササイズ②	三宅
12	体幹エクササイズ③	三宅
13	エクササイズの実践①	三宅
14	エクササイズの実践②	三宅
15	ファーストエイド	三宅
16		

【授業外学修】

予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】

パーソナルフィットネストレーナー 骨格筋の形と触察法

【参考書名】

【評価基準】

授業態度100%(授業への意欲・関心50%、授業への積極的な参加50%)

【実務経験】

病院または施術所における臨床5年以上

科目名: ハイボルテージ療法(後期)

授業形態: 実技・講義

担当教員: 古澤 忍

*この科目は柔道整復師指定規則外の科目である。

1単位

【授業概要】 物理療法の概要、電気療法の基礎、ハイボルテージの使い方と治療法を学ぶ。

【到達目標】 笑顔道式ハイボルテージによる施術、施術の際の診たての大切さの理解

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	電気治療の基礎、物理療法・ハイボルテージとは	古澤
2	ハイボルテージの頭頸部への当て方、知識確認①	古澤
3	ハイボルテージの頭頸部へのアプローチ、ハイボルテージの腰部への当て方	古澤
4	ハイボルテージの腰部へのアプローチ、知識確認②	古澤
5	ハイボルテージの肩部への当て方、アプローチ	古澤
6	ハイボルテージの肩部へのアプローチ、ハイボルテージの膝への当て方	古澤
7	ハイボルテージの膝へのアプローチ、知識確認③	古澤
8	定期試験	古澤
9	定期試験後の復習と解説、症状別の治療法	古澤
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

【授業外学修】 予習: 授業に臨む前に該当する身体の部位の解剖学を学ぶこと(1時間)
復習: 資料の見直し、ハイボルテージ療法の代わりに指での押圧(1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: キネシオテーピング技法

授業形態: 実技・講義

担当教員: 高倉 祥

* この科目は柔道整復師指定規則外の科目である。

1単位

【授業概要】 キネシオテーピング理論とその療法について学び、全身で基礎となるテープの貼り方、また実際の現場でのテープの選択、使用方法、注意点などを学ぶ

【到達目標】 整骨院現場・トレーナー現場等にて施術を行っていく上で、テープ種類毎の使い分け、効果を出すための貼り方の基礎を習得し、患者様一人一人へより適したテープの選択と受傷直後から完治までのテーピングの使い方を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	キネシオテーピング療法について	高倉
2	基礎のキネシオテーピング	高倉
3	上肢へのキネシオテーピング	高倉
4	上肢帯へのキネシオテーピング	高倉
5	下肢へのキネシオテーピング①	高倉
6	下肢へのキネシオテーピング②	高倉
7	頸部へのキネシオテーピング	高倉
8	腰部へのキネシオテーピング	高倉
9	定期試験	高倉
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

【授業外学修】 予習: 講義に臨む前に該当する資料をしっかりと読んでおくこと(1時間)

復習: 授業内容を振り返り、内容の理解に努める(1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考書名】

【評価基準】 定期試験50% 授業態度50%(積極的な授業への参加)

科目名: フィジカルトレーナー(後期)

授業形態: 講義・実技

担当教員:

三宅 史晃

*この科目は柔道整復師指定規則外の科目です

2 単位

【授業概要】

本校独自の正規カリキュラムとして、スポーツトレーナーに関わる知識を習得する為、トレーニング指導者テキストを基に講義を行う。

【到達目標】

フィットネストレーナーに必要な、知識、技術を身に付け民間資格の取得を希望する学生は合格を目指し、希望しない学生は学内でのトレーナー活動で実践できるように実践的能力を養う。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	筋力トレーニングについて	三宅
2	トレーニングのプログラム設計①	三宅
3	トレーニングのプログラム設計②	三宅
4	上肢エクササイズ①	三宅
5	上肢エクササイズ②	三宅
6	上肢エクササイズ③	三宅
7	下肢エクササイズ①	三宅
8	下肢エクササイズ②	三宅
9	下肢エクササイズ③	三宅
10	体幹エクササイズ①	三宅
11	体幹エクササイズ②	三宅
12	体幹エクササイズ③	三宅
13	エクササイズの実践①	三宅
14	エクササイズの実践②	三宅
15	ファーストエイド	三宅
16		

【授業外学修】

予習: 講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習: 授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

トレーニング指導者テキストを基に講義を行う。

【教科書名】

【参考書名】

【評価基準】

授業態度100%(授業への意欲・関心50%、授業への積極的な参加50%)

【実務経験】

病院または施術所における臨床5年以上

科目名: アロマセラピー概論・実技(前期)

授業形態: 講義・実習

担当教員: 原 奈摘美・住吉 光輝

*この科目は柔道整復師指定規則外科目である。

2単位

【授業概要】 植物の香りが心や体に及ぼす作用を学び、香りに親しみ、楽しみながら、より豊かなライフスタイルを提案・実現できるセラピストを目指す。

【到達目標】 植物の香りが心や体に及ぼす作用を理解する。
JAAアロマコーディネーター資格を取得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	アロマセラピー概要 精油使用上の知識	実技:クラフト作成 原・住吉
2	精油の抽出方法 抽出部位	実技:クラフト作成 原・住吉
3	キャリアオイルの役割と条件 キャリアオイルの種類	実技:クラフト作成 原・住吉
4	ブレンドの比率と香りの相性	実技:クラフト作成 原・住吉
5	人間の脳と嗅覚	実技:クラフト作成 原・住吉
6	フェイストリートメント(表情筋とトリートメント方法)	実技:クラフト作成 原・住吉
7	香りの歴史	実技:クラフト作成 原・住吉
8	精油の安全性	実技:クラフト作成 原・住吉
9	精油の作用	実技:クラフト作成 原・住吉
10	ボディトリートメント(循環器・リンパ系・精油の代謝と排出)	実技:クラフト作成 原・住吉
11	香りの心理	実技:クラフト作成 原・住吉
12	フレグランスの知識	実技:クラフト作成 原・住吉
13	精油に含まれる成分	実技:クラフト作成 原・住吉
14	精油の禁忌を示す成分	実技:クラフト作成 原・住吉
15	アロマセラピーに関する法律	実技:クラフト作成 原・住吉
16	学習のまとめ	原・住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「予防医学とセルフメディケーション編テキスト」「学生用レッスンテキスト」「精油テキスト」(JAA日本アロマコーディネーター協会)

【参考図書】

【評価基準】 授業態度100%(授業への積極的な参加)